

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	資料係
■評価事業名称	視聴覚ライブラリー推進事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	402100 - 051	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条 地方自治法第二五二条の二		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	視聴覚機材等の整備・利用促進を図りながら、視聴覚教材の提供を行い、地域づくりへの意識を向上させることにより市民の満足度を上げることが出来る。学習教材の貸出。親子映画会等の実施。視聴覚資料目録を作成し情報発信。16ミリ映画フィルムの利用促進のための技術者の養成。視聴覚ライブラリー間で情報交換や研究協議。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	視聴覚ライブラリー事業	市民ほか	16ミリ映写機講習会 機器利用数 教材利用数 総観客数	16ミリ映写機講習会開催 4名  機器利用数 37件 教材利用数 114件 総観客数 6,476人

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	431	117	213	190	
人件費	3,226	1,527	2,239	1,713	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,657	1,644	2,452	1,903	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	機材等貸出件数	80件	67件	40件	37件	16ミリ映写機、プロジェクター、スクリーン等の貸出件数
03	観覧者数	3,087人	1,337人	6,866人	6,476人	北上市視聴覚ライブラリー利用の観覧者数

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	機材1件当たりコスト	45,712円	24,538円	61,300円	100,648円	フルコスト÷機材貸出件数
05	観覧者1人当たりコスト	1,184円	1,229円	357円	575円	フルコスト÷観覧者数

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

利用は概ね順調である。

### 問題点・課題等

利用促進のため、更なる広報の拡充が必要である。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了